

共同利用・共同研究に関わる各種お知らせ

共同研究専門委員会よりお知らせ

共同研究専門委員会では、分子科学研究所が公募している課題研究、協力研究、分子研研究会、若手研究会、および岡崎コンファレンスの申請課題の審査を行っています。それぞれの公募の詳細については分子研ホームページ (<http://www.ims.ac.jp/guide/>) を参照いただきたいと思います。

共同研究の現状について、平成20年度から平成26年度後期分（平成26年11月20日現在）までの採択数の推移をまとめたものを下記に示しました。分子科学研究所は、文部科学省「ナノテクノロジープラットフォーム」事業における「分子・物質合成プラットフォーム」の実施機関となっており、通常の協力研究に加え、本事業における協力研究も実施しています。これも含めたトータルの件数でみれば、共同利用研究の件数は年間約130件程度で推移しています。

以前の共同研究専門委員会において、現状の「課題研究」は、その位置づけがやや不明確なところもあるのではないかとこの意見を受け、課題研究の見直しを行いました。その結果、平成27年度前期の公募から、課題研究の目的を明確化し活性化するため、課題研究を二つのカテゴリー（課題研究「一般」と課題研究「新分野形成支援」）に分けて公募することにしました。課題研究「一般」は、従来からの課題研究です。これに対して、課題研究「新分野形成支援」は、あらかじめ、いくつかの課題を設定しておき、設定課題に対して申請してもらうタイプの課題研究です。課題設定にあたっては、所内外の意見を参考にしつつ、新しい研究分野開拓のために分子研が取組むべき研究の方向性も見据えた上で、平成27年度は下に示す四つの課題を設定しました。

- (1) 理論と実験の融合による水溶液の特異性と生体分子の機能発現の解明
- (2) 乱雑量子系における多体相互作用の研究
- (3) 分子性物質の機能性科学
- (4) 新しい駆動原理に立脚する分子変換・エネルギー変換

課題研究「新分野形成支援」の設定課題については、来年度以降、また新たな課題を設定する予定ですので、よいアイデアがありましたら、是非、所内教員あるいは共同研究専門委員会委員長 (aono@ims.ac.jp) まで、ご提案いただきたく思います。

共同利用研究の実施状況（採択件数）について

種 別	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (11月14日現在)
課題研究	2	1	0	1	1	2	1
協力研究	90	119	122	108	123	64	60
協力研究（ナノプラット）	—	—	—	—	—	51	37
分子研研究会	4	5	6	4	10	10	3
若手研究会等	1	1	1	1	1	1	2
岡崎コンファレンス	—	—	—	—	1	1	1
計	97	126	129	114	136	129	104

分子研研究会

開催日時	研究会名	提案代表者	参加人数
平成26年9月27日	細胞核内反応の分子科学	樋口秀男（東京大学大学院理学系研究科） 宇理須恒雄（名古屋大学革新ナノバイオデバイス研究センター）	45名
平成26年11月21日～22日	「先端放射光源に関する研究会— 第3世代放射光リング/SASE-FELを越えて日本が選択すべき放射光源ロードマップに向けて（1）」	加藤政博（分子科学研究所）	64名
平成26年12月20日	分子システム研究における溶液散乱	秋山修志（分子科学研究所）	44名

若手研究会等

開催日時	研究会名	提案代表者	参加人数
平成26年6月15日	第54回分子科学若手の会夏の学校 講義内容検討会	福田将大（京都大学大学院工学研究科）	18名
平成26年7月21日～23日	第12回ESR夏の学校	田中彩香（大阪市立大学大学院理学研究科）	31名